

4. 特例業務勘定の利益剰余金等を活用した鉄道関連施策について

経営安定基金積み増し(無利子貸付方式) 3,600億円
(JR北海道:2,200億円、JR四国:1,400億円)

- ・20年間にわたり、経営安定基金の積み増しと同等の効果を有する安定的な運用益を確保するため、JR北海道及びJR四国は、特例業務勘定から無利子貸付を受けて、特例業務勘定が発行する経営安定化特別債券(20年物)を購入

三島貨物の設備投資への助成金・無利子貸付 2,390億円

- ・JR北海道への助成金及び無利子貸付(H23～H32年度)
(1/2を助成金、1/2を無利子貸付(10年据置き後10年均等償還)) 600億円
- ・JR四国への助成金及び無利子貸付(H23～H32年度)
(1/2を助成金、1/2を無利子貸付(10年据置き後10年均等償還)) 400億円
- ・JR九州への無利子貸付(H23～27年度)
(10年据置き後10年均等償還) 500億円
- ・JR貨物への無利子貸付(H23～H29年度)
(10年据置き後10年均等償還) 700億円
- ・JR貨物(青函トンネル用機関車等)への助成金及び無利子貸付
(1/2を助成金、1/2を無利子貸付(10年据置き後10年均等償還)) 190億円

整備新幹線関係(過去債務償還) 1,500億円

- ・北陸新幹線(高崎～長野間)の債務償還

並行在来線への支援(貨物調整金) 1,000億円

- ・貨物調整金に要する費用として特例業務勘定が10年間負担

(参考)利益剰余金の国庫納付額は1兆2,000億円